

領域プロジェクト名称	CO <sub>2</sub> による石油増進回収法の海洋油田への適用
担当教員	尾崎 雅彦
プロジェクトの狙い	<p>油田に存在する石油のうち採集可能量は通常 20～40%程度であるが、これを 30～60%以上に引き上げる技術；EOR の導入が進みつつある。特に、発電所や工場などで人為的に生成される CO<sub>2</sub> を油層に注入する方式の EOR は、温暖化対策を兼ねる側面もあり注目度が高まっている。</p> <p>火力エネルギーに依存しつつ低炭素社会をめざすための重要な技術システムの一つとして CO<sub>2</sub>-EOR を理解するとともに、そのための CO<sub>2</sub> サプライチェーンを事例としたシステム計画を経験してもらおう。</p>
プロジェクトの内容	<p>本プロジェクトでは、今後海洋油田で CO<sub>2</sub>-EOR が行われる場合の CO<sub>2</sub> 海上輸送について、物流シミュレーションにもとづくシステム計画のケーススタディを行う。</p>
プロジェクト開催場所	本郷キャンパス工学部 3 号館 311 室
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 米国エネルギー省がまとめた海洋油田 EOR の展望に関する報告書の勉強</li> <li>(2) 海洋油田 EOR のための CO<sub>2</sub> サプライチェーンの調査・検討</li> <li>(3) 海上輸送方式 CO<sub>2</sub>-EOR の物流シミュレータの開発とシステム計画</li> </ol>
ウェブサイト	